

# あかるいまち21

No.1174 2018年10月2日 組合員活動推課 082-532-1264

	10月累計	2018年度
組合員ふやし	8人	562人
出資金ふやし	15万円	5372万円
純増	1万円	102万円

## 続く災害、己斐の町の防災を知る、考える 生協強化月間突入！お月見集会 ～己斐支部

9月25日、己斐西集会所で生協強化月間スタート集会として「お月見集会」が開催されました。この夏は西日本豪雨災害をはじめ、全国各地で深刻な災害が起きたこともあり、私たちの地域で防災について考えようと西区地域おこし推進課の大下慎一さんをお招きし、己斐小学区のハザードマップについて学びました。参加者から「防災無線が聞こえないんですが・・・」と聞かれると、「内容はわからなくていいんです。何か言っているなあと思ったらNHKのdボタンで情報確認してください。」とユーモアを交えながらお話いただきました。大下さんにご指導いただきながら、支部で作っていたつながりマップを利用し、危険場所の確認や避難場所などを記入し、防災マップも作成しました。ひと段落ついたところで運営委員さん手作りのおいしいぜんざいをいただき、楽しく時間は過ぎました。最後に生協強化月間のとりくみを訴えてスタート集会を終えました。



## 9/28（金）横三支部で訪問行動



支部委員のメンバー4人と訪問プロジェクトメンバーから3人の応援を得て、地域包括部の計10人での行動です。

手配り空白地域の大宮1・2・3丁目を中心に、横川駅の北側の地域を訪問しました。5組の行動で61件を訪問し対話は18件でした。訪問の目的は担い手さん捜しと横三支部の独自行事への参加のお誘いです。担い手さん捜しという点では成果は見られませんでした。

だが、支部行事にはお一人の参加申し込みがありました。

福島生協病院の往診を利用しておられる組合員さんと対話できました。70歳の奥様が74歳のご主人（要介護5）を介護されて奮闘されておられるのですが、福島生協病院の医師体制の問題から、緊急の往診ができないことへの不安な思いのたけをしっかりと訴えられました。職員の立場では傾聴に徹して医師体制の弱さへのお詫びをさせていただきました。同行しておられた支部組合員さんも一緒にしっかりと聞きいただき、最後は奥様もニッコリ笑って「これからもよろしく願います」と別れることができました。

医師体制での弱さはあるものの、そこは「中央保健生協の総合力」でこのご夫婦を支えていきたいなと思った次第です。